

発見！地域のお宝

# なかの が いいね 3





## このまちにはくらしを彩る“地域のお宝”があふれている

### 地域共生社会を目指す

地域で暮らす「人と人」、「人と資源」が世代や分野を超えて繋がることで、住民一人ひとりの暮らしが充実し、生きがい生まれ、地域を共に創っていくという思いを共有することができます。それは人と人が「支える側」と「支えられる側」という関係ではなく、互いに支えたり支えられたりする関係であったり、制度や分野といった縦割りを超

えた地域づくりが大切だともいわれます。また、少子高齢化、人口減少が進行している日本では、福祉ニーズも多様化・複雑化しています。人口減少による担い手の不足や、血縁、地縁、社縁といったつながりが弱まっている現状を踏まえ、「人と人」、「人と社会」が繋がり支え合う取組が生まれやすいような環境を整える新たなアプローチが求められています。

### 人と人とのつながりそのものがセーフティネット



### Pick UP ウブントゥ

あまり聞いたことのない言葉ですね。それもその筈で南アフリカの一部で話されているズールー語だそうです。過酷な生活環境のアフリカでは、持続可能な社会を保つため多くの諺があるようです。有名な、It takes a village to raise a child. (子どもを一人前にするには村がかり)は講演等で引用される方も多くみられます。「ウブントゥ」も、普遍的な「繋がり」「思いやり」を意味するアフリカの哲学なのです。

その意味するところは「私があるのはあなたがいるからである」「誰もが誰かのおかげでここにいる」。このアフリカの大地で育まれた共生のメッセージは、現在の私たちの心にもずっと入ってくるのでは、と思い紹介させていただきました。もっと詳しいことが知りたい方は、ピーター・コールリッジ氏(フリーリサーチャー)がジンバブエの事例を含めて講演されているものがあるので紹介しておきます。(QRコード参照)



### 『なかのよいまちプラン』

『みんなでつくるなかのよいまち』をスローガンに、中野のみんなが暮らしやすく、人と人とのつながりの中で支え合える地域づくりを進めていくための計画です。この計画をもとに中野地区社会福祉協議会が声をかけて、中野のまちづくりを福祉で盛り上げていこうという思いで様々な取り組みを推進しています。



### 『なかのよいまち大 en 会』

中野の福祉のまちづくりに関わるみなさんが集い、互いの取り組みや思いを話し合うことで困りごとや人の変化に気づいた時に相談し合えるつながりをつくる場として開催。地域で起こっていることに目を向け、自分たちのこととして見守り・支え合いの機運を高めていく機会になっています。令和3年度は、『住民』と『医療・高齢・障害・子どもに関わる専門職の方』が地域でできること・「中野地区の福祉のまちづくりで取り組みたいこと」について懇談しました。



### 『中学生と語る会』

次世代を担う中学生と語る会をしました。中野地区の昔の様子や今取り組んでいる福祉のまちづくりについてのスライドを見てから、何かできることがあるか話してもらいました。「おじいちゃんおばあちゃんとお茶飲み会がしたい」「広場で体を動かしたい」「絵を書くのが好きなのでチラシ作成のお手伝いができます」「廃材でゲームを作れます」など素敵な提案がありました。今後の福祉活動の中で繋がっていききたいと思います。



### 『なかのよいまち推進会議』

『なかのよいまちプラン』を実現するために、地区社協やまち協、生活支援サポーター、福祉の専門職、地域に住む若者など中野のまちづくりに関わる人や団体が、互いの強みやアイデアを持ち寄り、話し合っています。是非、みなさんの「気になる」、「何かしたい」の声を寄せてください。



## 中野地区 ボランティアセンター

みんなが人財。ひとりの知恵や得意が誰かのために…  
童謡「めだかの学校」のように…誰が生徒か、先生か…  
ボランティアじゃなくても、楽しめるだけで良い…  
誰かの「やってみよう」を実現できる場所…  
新たなつながりが生まれ、それが地域の力になる…



みんなが立ち寄って何でも話せる居場所づくりを通して、「何かしたい」という人を応援し、「助けてほしい」という人に寄り添い、「できる」と「助けて」の声をつなぎます。

また、「やってみたら楽しそう」「こんなことが必要じゃない？」とみんなが楽しめる企画を通して、中野の“人財”が活躍できる機会づくりに取り組んでいます。

### 移動図書館



八日市図書館から移動図書館バスが中野ヴィレッジハウスに来ています。夏休みには、司書さんによる読み聞かせも行われました。



### おいしいカレーを食べよう！



学校が長期休みになるときは子ども開放デーを企画しています。春休みにはカレーを食べたり庭で遊んだり…元気な声が響いていました。



### よし子さんの漬け物教室



大人気企画！今年は奈良漬けと白菜の重ね漬け。番外でお孫さんによるキンパの作り方も教えてもらいました。

### 寒さに負けないお料理レシピ



蒲生野会あかねの栄養士さんに「寒さを乗り切るヒント」を教えてもらいました。体を温める食材を使ってのレシピの実演もしてもらおうと、家でもつくりたいなという声がありました。

毎週木曜日 10:00-16:00

中野ヴィレッジハウス  
(東中野町 5-21)

←「映画を見よう！」や「レコードもちよりカフェ」などほっこりする企画もあります。終わったあとは、昔の思い出で盛り上がります。隔月に発行されるチラシをチェック！

### ピザパンをつくろう！



ボランティアセンター開設日に出店されている「おっさんのパン屋さん」北口さんに、生地から作るピザパンを教えてもらいました。家庭にある材料で2時間程で焼き上げまで！シェフの帽子も用意してくれて気分もあがりました。



## 歌声喫茶



2ヶ月に1回くらいのペースで定期的に開催。生伴奏で童謡や季節の歌、懐かしのメロディを歌っています。



参加者の声  
毎回、楽しみにしています。大きな声で歌うと気持ちがすっきりします。

## かくれんぼクリスマスコンサート



ハーモニーが素晴らしいのはもちろんのこと、プログラムにもストーリー性がありふわ〜と音の世界に引き込まれました。しっとりと歌い上げたり、楽しくみんなで歌ったり、あっという間に時間が過ぎました。

## ノルディックウォーキング



スキーのストックのような2本のポールをつえるように地面に着きながら歩くため、足やひざへの負担が軽く、誰でも取り組みやすいです。ウォーキングよりもエネルギー消費量が大きく、ダイエット効果も期待できるといわれています。

参加者の声  
先生のあたたかいご指導のおかげで「80歳の手習い！」楽しかったです。

## CLUE CARD



↑小原日出美さん。

介護が楽しく学べるカードゲームです。中野地区在住の小原日出美さんが考案されました。自分ならどう介護してほしいかをゲーム式で考えることで、地域や家族、仲間の中で介護について話し合えるきっかけとなります。



↑CLUE CARDの様子。

## TOPICS

# ながのてくてくまちがどアート

芸術の秋。ちびっこアーティストのかわいい作品から、心のままに作り上げたこだわりの作品まで、外から見えるように飾りました。街道沿いを中心にてくてく歩きながら体も心も元気になりますように。



街角にも作品を展示しました→



★編み物おしゃべりフレンズ  
奇数月に開催。編み物好きが集まっておしゃべりしながら編み物しています。今年は余り糸で一人一人が編んだ小さな作品を繋げて大きな1枚に仕上げました。



**まちがどアート**  
開催期間 11/7(日)~11/14(日)  
芸術の秋。ちびっこアーティストのかわいい作品から、心のままに作り上げたこだわりの作品まで、外から見えるように飾ります。街道沿いを中心にてくてく歩きながら体も心も元気になりますように。

お問合せ先  
お電話 090-1819-0857  
小島 節子様

主催：中野まより協議会 共催：中野地区社会福祉協議会



# 中野地区の集いの場

## 今崎町ラジオ体操



夏休みは子ども会がラジオ体操をしていますが、8月1日は、神社のお宮参りの日であることから、多くの町内の方が参拝に来られていました。そこでその日に、町内の方が参加するラジオ体操を開催したら世代間地域交流につながると考え、始めました。日が決まっているので覚えやすく、毎年たくさんの参加者がおられます。

「年に1回だけど、子どもたちと出会えるのがうれしい」や「普段は押し車が頼りだが、健康のために毎年きている。必ず誰かがいるので、楽しみ」という声も聞こえ、年に1度の町内ラジオ体操は、地域の交流の場になっています。

活動日時 8月1日(原則)  
6:15 ~ 6:50  
活動場所 今崎 日吉神社



## 50年森マルシェ



50年森にピクニックに来た時にとっても気に入って、ここでマルシェをしたいと思いました。安心安全な食べ物や、こだわってつくっているものを集め、自然と触れ合いながら素敵なものや人との出会いや体験の場になったらいいなという思いからできたマルシェです。

参加された方からも、「森が気持ちいいし、安心な食べ物があるので、子どもたちにも心配なく食べさせられる」や「外なので、天候に左右されて大変かと思うが続けてほしい」という声が聞かれます。

ぜひ、てまひまかけたお弁当やこだわりの作品を探しにきてください。

Instagram ページ  
50\_years\_forest\_marche

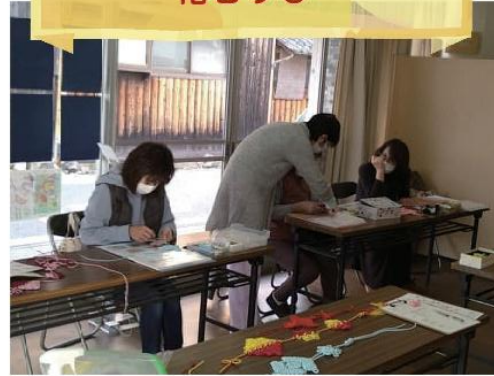


こちら→

活動日時 不定期  
活動場所 50年森



## 花むすび



色とりどりのくみひもを使っての花むすび。文芸会館での講座で出会い、その後も続けたい人を中心に、活動を始めました。おしゃべりをしたり、真剣に結んだりあっという間に時間がすぎます。

花むすびは昔から伝わるもので、茶道のなつめを入れる袋の口をむすぶのに使われていました。伝統的なむすび方も継承しつつ、現代にも使えるように発展させていきたいです。難しい結び方も多く、簡単ではないですが楽しいです。欲しいと言ってくれる人がいるので、次の作品を作る力になります。集まったみんなであれこれしゃべる時間も楽しいです。

活動日時 毎月第2金曜日  
10:00 ~ 12:00  
活動場所 さくらんぼ



## 東近江さとやま Nannies



中野地区まちづくり協議会50年森整備班と東近江さとやま Nannies のコラボにより、里山探検プログラムや森の工作を行いました。いきものを見つける喜びと自然を愛する心を幼児期から育てながら、森の保全等について知ってもらいたいと活動しています。

里山保全と里山保育をむすびつけることで世代間交流を促し、森にまつわる昔話や言い伝えを聞けるチャンスにもなります。自然がもっと好きになる森づくりへの参加を広く呼びかけ中!!!

Facebook ページ  
「東近江さとやま Nannies」



こちら→

活動場所 50年森

中野地区まちづくり協議会  
50年森里山整備事業  
誰でも参加できます!!!  
毎月第2、第4火曜日  
9:00 ~ 11:00  
(おかしつき)



## スクールガードのとこちゃん！

### さとこさんのインタビュー



とこちゃんこと  
石床治輝さん

長年、登下校時に交差点での見守りを行う、スクールガードの活動を行っているとこちゃんこと、石床治輝さんにインタビューを行いました。

活動を始めたきっかけは、お孫さんが、小学校へ行くときに見守りを始めたこと。それから17年。毎日子どもたちとふれあい、見守り続けてこられました。活動は、子どもたちの元気な顔がみられるので楽しいそうで、体が続く限りは続けていきたいとのこと。

取材した日、たまたま転んでけがした子どもに、絆創膏を出して貼ってあげていました。ウエストポーチには、応急処置の道具も準備しているとのこと。地域の子どもの登下校を見守る大事な存在です。



登下校の見守り活動



子どもたちにも大人気です



## 『コロナ禍でもつながりをきらないサロン活動』



高齢者を対象とした集いの場、サロン活動が町単位で開催されています。新型コロナウイルスが蔓延してからは3密を避けるためいつものように集えなくなりました。

それでも、つながりをきらないために工夫をしながら模索中です。

来てもらえないなら行けばいい！ということで、お菓子や脳トレなどを持って各家に訪問しています。

また、感染者数が落ち着いて気候の良い時には外で開催されたところもあります。手作りの竹の棒を使って直接触れ合わない遊びを考えたり、マスクとフェイスガードをつけて静かにビデオ鑑賞や脳トレをしたり…。普段はお茶を出すけどセルフでご自由で！やそれぞれ持参してもらっています。

家にばかりいて足腰が弱ってしまわないように市の体力測定をとりいれたところもあります。皆さん、自分の体に関心を持っておられ、サロンで習った片足立ちを家でするなどが介護予防になっています。

もう少し感染が落ち着かないと以前のようにはできませんが、また皆さんとワイワイおしゃべりしながら楽しいひと時が過ごせる日がくるまで元気でいましょうね。



## 中野地区のシンボル

- むくの木と太郎坊山 -

### 編集後記

「中野ってどんなところ？」と尋ねられたら、どう答えますか。自然や歴史、名所旧跡、伝統行事やまつり、お気に入りの場所などなど、それぞれあると思います。誇りに思えること、好きなこと、そんなことがたくさんあるまちで安心して暮らしていきたいという思いは、みな同じだと思います。そしてそれは形のあるものだけではなく、日々の生活そのものであったり、人と人が作り上げてきたものであったり、一つ一つにたくさんの思いが詰まっていることでしょう。今回の「なかのがいいね」でも、好きなことやってみたこと、または気になっていることや必要だなと思うこと

を具体的な活動につなげている場や人を紹介しています。このような場所や人も、中野ってどんなところと尋ねられた時に、沢山あるうちの「実はね・・・」と答えられる宝物のひとつです。

3冊目となった「発見！地域のお宝『なかのがいいね』」。1冊目から振り返ってみると、本当にたくさんのお宝が見つかっています。きっとまだまだ知らないお宝もあることでしょう。「こんなことをやっている人たちがいるよ」「こんなことをやってみたくて思っているんだけど」など、ぜひお知らせください。これからも、中野のお宝をどんどん増やしていきましょう。

■ 連絡先 中野地区社会福祉協議会（事務局：小島）  
MAIL Nakano41machi@outlook.jp

いいねをお願いします！！

Facebook でも中野の魅力と取り組みを発信しています。



<https://www.facebook.com/nakano41machi/>

